

複合型施設整備計画

福祉施設×商業施設×公共交通ターミナル×公共駐車場

企画課

今回は、整備計画の中で複合型施設への整備を計画している「ぼらせんこもろ」と「ファミリー・サポート・センター」について説明します。



「ぼらせんこもろ」とは？

小諸市市民協働・ボランティアサポートセンターの愛称を「ぼらせんこもろ」といいます。

小諸市には、たくさんのボランティアや市民活動をされている皆さんがいて、自主的に地域の課題解決に向け、取り組んでいただいています。

様々な地域課題がある中で、ボランティア、市民活動をされている皆さんの力は、行政だけでは対応できない部分にまでおよび、地域にとってはなくてはならない活動になっています。

こうした、ボランティアの皆さんの活動の拠点となるのが「ぼらせんこもろ」です。

ぼらせんこもろは、平成15年に小諸市が設置し、小諸市社会福祉協議会に運営を委託しており、幅広いネットワークや地域に根ざした強みなどを活かした取組みが行われています。

【主に行っている事業】

- ・ボランティアの活動支援、マッチングなど
- ・登録団体や個人が講師となり、地域住民の皆さんと話し合う場としての「しゃべり場」
- ・地域住民を対象にボランティア活動につながる講座を開催し、幅広い皆様にボランティア活動のすそ野を広げる「交流活動」
- ・ボランティア活動に対する知識と理解を深め、活動者同士の交流やネットワークを広げる「ボランティアフェスティバル」
- ・センター登録者が一堂に会して情報交換をし、分野を越えたつながりを作る「利用者の集い」
- ・気軽に始められる活動として「古切手の整理」「エコキャップの仕分け」



「ぼらせんこもろ」が複合型施設へ移転するメリット

・バリアフリーにより今までよりも利用しやすくなります。

現在の施設は、2階を利用する場合、階段しかなく、1階についても通路が狭く、多少の段差があることからバリアフリーの施設に移転することにより、どなたでも「ぼらせんこもろ」を利用しやすくなります。

・駐車場が今までよりも利用しやすくなります。

現在の駐車場は、不整形で面積も狭いことから、大勢の皆様が集まる際には車を詰めて駐車したり、近隣の駐車場をお借りして対応していましたが、新しい施設では駐車スペースが確保でき、利用しやすくなります。

・新たな交流の輪が広がります。

現在の施設は、「ぼらせんこもろ」がほぼ単独（一部、長野県商工会連合会東信支所が使用）で使用していますが、大勢の皆様が集まる新施設に移転することで、新たな出会いの機会が増え、市民活動やボランティア活動を広げていくきっかけになります。